

輸入小麦の政府売渡価格の改定について

農林水産省は、「主要食糧の需給及び価格の安定に関する法律（平成6年法律第113号）第42条第2項」に基づき売り渡す輸入小麦の平成30年4月期の政府売渡価格を決定しました。

1. 政府売渡価格の改定内容

輸入小麦の直近6か月間（平成29年9月第2週～平成30年3月第1週）の平均買付価格は、高タンパク質小麦の減少懸念や、収穫の遅れにより価格が上昇したこと、燃料油価格の上昇により海上運賃が上昇したこと、為替が円安傾向で推移したこと等から、前期に比べ上昇しました。この結果、平成30年4月期（平成30年4月～）の輸入小麦の政府売渡価格は、政府売渡価格の改定ルールに基づき、直近6か月間の平均買付価格を基に算定すると、5銘柄加重平均（税込価格）で54,370円/トン、3.5%の引上げとなります。

（単位：円/トン）

政府売渡価格	29年10月期	30年4月期	対前期比
5銘柄加重平均（税込み）	52,510	54,370	+3.5%

注1：5銘柄の内訳

ハード・セミハード系小麦

アメリカ産ダーク・ノーザン・スプリング（DNS）	主にパン・中華麺用
カナダ産ウェスタン・レッド・スプリング（1CW）	主にパン用
アメリカ産ハード・レッド・ウィンター（HRW）	主にパン・中華麺用

ソフト系小麦

オーストラリア産スタンダード・ホワイト（ASW）	主に日本麺用
アメリカ産ウェスタン・ホワイト（WW）	主に菓子用

注2：ハード・セミハード系小麦の平成30年4月期における政府売渡価格（加重平均）は、税込みで55,440円/トン（対前期比+3.4%）です。

ソフト系小麦の平成30年4月期における政府売渡価格（加重平均）は、税込みで51,980円/トン（対前期比+3.5%）です。

2.輸入小麦の安定供給確保のための相談窓口等

農林水産省は、消費者等に対して、輸入小麦の政府売渡価格の背景等の情報提供を行うとともに、専門の相談窓口を通じ、各種の相談を受け付けています。また、併せて小麦関連製品の小売価格の動向把握に努めています。

窓口設置場所：農林水産省政策統括官付貿易業務課麦類需給班

電話：03-6744-1253（直通）

インターネットによるお問合せ：

https://www.contactus.maff.go.jp/j/form/seisaku_tokatu/boekimugi.html

< 添付資料 >

[輸入小麦の政府売渡価格について](#)

【お問合せ先】

政策統括官付貿易業務課

担当者：伊藤、湊

代表：03-3502-8111（内線5012）

ダイヤルイン：03-6744-1253

FAX：03-6744-1390